

UBE Exhibition NEWS LETTER

2019.8.25.オープニング



講演会
持続可能な地域のつくり方
算裕介 issue+design

地域っていうのは 生態系みたいなもの

工学的なアプローチは衰退を招く

僕は、地域っていうのは生態系みたいなものだと思います。これまでのまちづくりや都市計画はわりと工学的なアプローチ、つまり何らかの課題があるときに、それを分解して1つずつ対処してきたのではないかと思います。

例えば、人口減少の課題を解決するために移住定住対策をします。若者が何かしらのインセンティブに寄せられて来たとしても、子育てや働く環境が悪いなど、次の課題がうまれてその人たちは消えてしまうといったことがあります。その時々の問題意識に個別対処しても結果的に何も変わらなくて衰退していきます。

SDGsは、包括的に解決するという認識が大切

地域は生きていて、住民や学校、役場や里山などが生命体のように繋がりに連鎖する生態系のように考えないといけないと思っています。SDGsはまさにこのような考えをするうえで参考になります。

SDGsのシンボルマークは17個の目標が1つの輪でつながっています。17の目標を個別に解決するのではなく、包括的に解決するというのが大切な概念です。

持続可能な地域をつくる4つの視点

持続可能な地域をつくるにあたり、①先を見据えた未来のビジョン②それをみんなでつくっていくようなつながり・コミュニティ③個々が生きがいを持ちながらチャレンジできるようなものを生み出して④次の世代をつくっていく教育。この4つをきっちり整えていくことが大切だと感じています。



勉強会 | SDGsをもとに、自分の活動をブラッシュアップしよう！



SDGsの講演会をもとに、いま自分たちが取り組んでいる活動が、SDGsが掲げる17の目標のうち、どれに当てはまるかを考えました。その後、テーブルごとで、自分が取り組んでいる活動が、SDGsの視点から見ると実はつながっていることに気づいたり、何か一緒にできることがないかといったことを話し合いました。

対談
算裕介 issue+design
山崎亮 studio-L

憧れの連鎖 地域には、カッコいい大人が必要



1 昨日出席していた教育フォーラムでは「憧れの連鎖」という言葉があがりました。地域の中に憧れの対象がいるかで子どもたちの教育って変わると思うんですね。大人たちが「俺の方が儲かるんだ」みたいなことをやっていると、憧れの連鎖は起きないと思います。

3 六本木ヒルズに住んで金儲けしてるのがカッコいいと思う子どもが増えることってこの先少ないんじゃないかと思えます。ローカルの魅力に気づいた時、すごいことが起こるんじゃないかと思っています。

5 SDGsの17の目標を、関係性も考えずに点数化するのではなく、こういう関係性みたいなのを大事にしないといけないですね。

2 僕は、東京とローカルを往復するような生活をしている中で、東京とローカルの距離がすごく出てきているように感じます。東京中心の経済に押しつぶされそうになる中、ローカルはそこから一定の距離をおいて、それではだめじゃないか、いま地域にあることを活かさないという考えが、実は最先端をいっている気がしています。

4 自分がやっていることが、実はカッコいいことだということを周りが気づいてくれるとか、認めてくれる風土をつくるのが大切なんだと思います。

